

## 令和7年度第8回理事会議事録

議事録作成者：事務局長 松谷昌典

1 日 時：令和7年10月10日（金） 19：00～21：00

2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局  
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16

3 出席者（敬称略、順不同）：

【理事】古城資久、三浦重則、高井隆義、実島可斉、杉本好二、田中彰子、  
小野琢司、太田宏暁、芦崎高志、鈴木光、野上広志、小塩康祐

※理事総数：15名、本日の出席理事12名

※寺門浩之、福島政幸、菅生桃子は都合により欠席

【監事】安原 徹

※監事総数：2名、本日の出席監事1名

※石原美穂は都合により欠席

【陪席】二宮正晴（技術委員長）

佐々木陽一（国際副委員長）

松谷昌典（事務局長）

理事の古城資久、三浦重則、高井隆義、実島可斉、杉本好二、田中彰子、小野琢司、  
太田宏暁、芦崎高志、鈴木光、野上広志、監事の安原徹は電話会議システムを利用  
することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

4 開 会

定刻、古城資久会長（代表理事）が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。

5 議 長 古城資久

6 議 事

第1号議案：技術委員会提案事項について

（1）公認大会情報のホームページ掲載について

ホームページ管理会社より、全国競技会および全国各地域の競技会の公認に関し、頻繁な更新作業がレンタルサーバーの容量を圧迫しているとの連絡があった。これを受け、技術委員会にて更新頻度を低減する方法が提案された。しかし、審議の過程において、競技人口が増加している現状を鑑み、サーバー経費を増額してでも速やかな更新を維持すべきであるとの意見も出された。審議の

結果、ホームページ制作会社に見積もりを依頼し、次回理事会に附議することと決定した。

(2) SNSによる関係者間トラブルについて

クラウドファンディング実施者のSNS投稿を発端とし、パワーリフティング関係者と見られる人物の間で、インターネット上のトラブルが発生しているとの報告がなされた。当該プラットフォームは匿名性が高く、現時点において法的な問題を問うことは困難な状況にある。しかしながら、本協会の関係者の多くが、このようなSNS上での投稿や、やり取りに対し懸念を抱いていることも事実である。この状況を受け、本協会として以下の対応を取ることが提案された。

① SNSの適正利用に関する注意喚起を、協会ホームページに再掲載する

② 選手向けのコンプライアンス啓発ビデオを作成し、全国大会出場選手に対し受講を義務付ける

①は準備が整い次第速やかに実施し、②については顧問弁護士と啓発ビデオ教材を作成の上、次年度よりアンチドーピング講習会と合わせて実施する案が議場に諮られた。審議の結果、本案は出席理事の全員一致をもって承認された。

第2号議案:アンチドーピング委員会提案事項

(1) 簡易検査の実施方法について

簡易ドーピング検査の実施方法について審議した。手続き面から、検査を試技前に実施する方法が提案された。しかし、その一方で、国際選考会などの重要な大会においては、試技前に選手へ負荷をかけるべきではないとの意見も出された。なお、既に手配が完了しているグランプリ大会については、原案通り実施し、そこから実施上の問題点を抽出することを確認した。以上の議論を踏まえ、本件は継続審議とすることが決定した。

(2) ドーピング防止規程改訂案の承認

本改訂案は、前号議案である簡易検査の手続きが決定することを前提として作成されたものである。当該議案が継続審議となったため、本件も同様に継続審議とすることが決定した。

第3号議案:事務局提案事項

(1) 第4回日本グランプリ大会実働理事への謝金支払いの承認

令和7年10月25日から26日にかけて神奈川県小田原市で開催される第4回日本グランプリ大会は、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成を受けて実施される。本大会において審判、補助員、会場係として業務に従事する理事（古城、小野、杉本、寺門、鈴木、田中、福島、実島）に対し、1日あたり1万円を上限として謝金を支払う件が議場に諮られた。本件は、各理事が自身の謝金に関する決議をするため、対象となる理事を一人ずつ審議対象とし、当該理事を除く出席理事によって個別に審議・決議を行った。審議の結果、各理事への謝金支払い議案は、それぞれ全会一致をもって原案どおり承認可決された。

(2) 令和7年度ガバナンスコードに基づく自己公表に関する件

事務局より、ガバナンスコードの遵守状況については、毎年の自己公表が必要である旨が改めて確認された。続いて、資料「令和7年度 ガバナンスコード 自己公表（案）」に基づき、報告様式および公表予定内容の読み合わせが行われ、本案どおり承認を求める旨の説明があった。議長が本案の承認について議場に諮ったところ、審議の結果、出席理事の全員一致をもって原案どおり承認可決された。

(3) ガバナンスコードに基づく中長期計画の見直しに関する件

事務局より、ガバナンスコードへの対応および、現在の中長期計画の進捗状況を踏まえて作成された「中長期計画 見直し（案）」が提示され、主な変更点について説明があった。議長が本見直し案の承認について議場に諮ったところ、審議の結果、出席理事の全員一致をもって原案どおり承認可決された。

第4号議案国際パワーリフティング連盟（IPF）殿堂入り候補者の推薦に関する件  
国際委員会より、ワールドゲームズにおいて2度の優勝実績を持つ佐竹優典氏を、IPF殿堂入り候補者として、本協会から推薦したい旨の提案がなされた。議長が本推薦案について議場に諮ったところ、審議の結果、出席理事の全員一致をもって原案どおり承認可決された。

報告事項：(1) 国際審判員派遣謝金状況について

技術委員会より、本年の国際大会への審判員派遣状況と諸謝金の支払い状況について報告がなされた。なお、IPFへの制裁金は本年度発生していない。

(2) (仮称) SNS投稿ガイドラインの作成について

事務局より、SNS等の投稿に関して関係者間でのトラブルが続いている状況が報告された。これを受け、問題のある投稿、好ましい投稿について、本協会としての方針を明確に示す「(仮称) SNS投稿ガイドライン」を作成する方針が示された。本ガイドラインの原案については、次回理事会までに作成し、提示する予定である旨の報告があった。

(3) 次回理事会

次回11月7日（金）19時から開催予定。

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は21：00に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長（代表理事）及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和7年10月10日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会 長  
(代表理事)

古城 寛久



監 事

安原 徹

